

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

湘南日独協会会報(Der Wind)
VOL. 15. NO. 4. 通巻89. 発行 2013. 7. 14

湘南日独協会
Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan
事務局: 〒251-0025 藤沢市鵠沼石上1-1-1
江ノ電第2ビル7F
TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

湘南日独協会創立15周年記念ドイツ旅行



(歓迎祝賀会での左よりパウハウス氏、中根大使、
織田会長、パートナーのお世話をされた鎌田氏)

創立10周年の祝賀にはパートナーであるワイマール独日協会の会員が会長以下大勢で駆けつけて下さった。今回15周年を迎えるにあたり、パートナー協会と一緒に祝おうとの声がかきかけで、ドイツ訪問旅行が提案された。

今回の旅行では現地での滞在わずか9日をフルに活用して強行軍ではあったが、ドイツの文化・歴史を出来る限り知る内容とした。そして何よりもドイツの方々との交流・親交を目指し、夕食5回、昼食2回をドイツの協会会員との食事とした。アムゼル会員8名による合唱に加え、日独全員で歌ったのが4回、持参した小さな土産を皆に配った。ドイツ側の食堂・メニューの選択に到るまでの準備は大変だったろうと、有難く感謝している次第です。ベルリンフィルの演奏を聴けたのもベルリン独日協会によるチケット手配にご苦労いただいたお蔭でした。

東西ドイツ統一からすでに20年以上経ち、すべてが西よりも良いと感じられるほどに変わった東部ドイツを巡る旅は我々が最初ではないかと思う次第です。26名仲良く旅を楽しめて何よりでした。



(演奏するアムゼル団員8名)

新理事就任

6月30日の理事会において、小田武司氏の理事推挙が議決され当日就任致しました。

湘南日独協会の活動予定

■記念東部ドイツ旅行報告会

開始時間が早くなり、時間も長くなりました
DVDの上映もあります

日時 7月28日(日) 16:00~17:30

会場 江ノ電第2ビル7F 湘南アカデミア

会費 無料 終了後懇親会(会費3,000円)

■Singen wir zusammen!歌で楽しむドイツ語 第10回

今回は趣向を変えて、比較的新しい明るくて楽しい、まさに腕を組んで(schunkeln)歌いたくなるような曲です

日時 8月25日(日) 15:00~16:30

会場 江ノ電第2ビル4F 湘南アカデミア

会費 1,000円

申込み、問合せ: 木原

Tel:0466-28-9150 E-mail:jdgs@jcom.home.ne

■Singen wir zusammen! (第11回)

日時 9月22日(日) 15:00~16:30

詳細は上記8月に同じ

■湘南オクトーバーフェスト

恒例のビール祭りです!今年も楽しみましょう!

日時 10月4日(金) 18:30~

会場 グランドホテル湘南

申込み等詳しくは同封のチラシをご覧ください

■第89回例会 講演会

「ホルツフィグアー小さな木の人形」について(仮題)

講師 飼沼聖子氏 (ホルツフィグア作家)

日時 10月27日(日) 15:00~16:30

会場 藤沢市民会館 2F 教養室

■第90回例会 講演会

「ライン・ロマン主義」(仮題)

講師 森涼子氏 大学講師(ドイツ文化史研究)

日時 11月24日(日) 15:00~16:30

会場 江ノ電第二ビル7F 湘南アカデミア

新入会員紹介 敬称略
西山 晶子

東部ドイツ旅行に参加して

会員 勝亦正安



(菩提樹の写真をお渡しする。左端が勝亦氏)

5月22日午前1時全日空便にて出発、同日早朝にフランクフルト空港に到着した。アイゼナッハを皮切りに、ワイマール、ドレスデン、ベルリン、ポツダム、バルト海沿岸のシュトラールズント等東部ドイツ(旧東ドイツ)諸都市をバスで周遊、更に西のリューベック、ハンブルクを廻った後、31日全員つつがなく羽田に帰着。織田会長、三谷副会長夫妻、大石副会長夫妻以下、これに日本から同行の旅行添乗員阿部さん、現地通訳兼ガイドのマルクスゆかりさん、総勢26名の旅であった。

ベルリンの壁崩壊後、ドレスデン等一部東の都市を訪れてはいたが、歴史と文化に満ちた名所、景勝地の訪問、さらに音楽鑑賞も盛り込まれた今回の旅は、大いに楽しめた。また、各地の独日協会との交歓会は、通常のバック旅行では得られない体験であった。

フランクフルト空港到着後、東に約200 km走ってアイゼナッハに着いた。同市は人口僅か45千人だが、J.S. バッハ生誕の地として名高い。記念館のバッハハウスを見学した。バッハとその一族の遺品、往時の楽器が多数展示されている。ドイツ人ガイドは、展示されているスピネット等古楽器を使って、バッハの曲を生演奏してくれた。小生は無論、音楽に造詣の深い多くの団員にとっても得難い経験だったと思う。

次にアイゼナッハ郊外のヴァルトブルク城に着く。小高い山上に聳える城は左程大きくはないが、周囲チューリンゲンの森を一望出来る。ここは、中世ミネゼンガーが競った伝説の歌合戦が行われた城ーリヒアルト・ワグナーはオペラ「タンホイザー」でその情景を歌い上げたー、ヨーロッパで多いエリーザベト、エリザベスの名前の由来となった聖女エリーザベトが13世紀前半嫁ぎ来た城、また、マルチン・ルッターが16世紀前半に新約聖書をギリシャ語からドイツ語に訳した小部屋が今に残る城として世界中に知られる。

城のホテルで昼食を取った後、さらに東に向け1時間余走る。車窓には緑豊かな森と草原が続く。アウトバーンも一般道路もほぼ完全に修復されており、旧西ドイツと変わらない。一瞬ではあるが、ドイツ統一基金と連帯税の負担になお喘ぐ旧西側自治体と市民のボヤキが聞こえたような気がした。

ワイマールのホテル・エレファントに午後4時少し前に到着。ホテルは300年余の歴史と格式を誇る。部屋に荷物を置いて一休みの後、7時から、ホテル大広間で我が協会設立15周年の記念祝賀会がワイマール独日協会との合同で開催された。

イングリッド・パウハウス協会長、鎌田哲男副会長、ベルリンから特別参加の在独中根猛日本大使の各挨拶、そして、ワイマール独日協会の勸奨により湘南日独協会は誕生した旨の経緯が織田会長の答礼の中で紹介された。両協会長によるプレゼント交換。6年前来日された当時のワイマール市長と独日協会会長が鎌倉中央公園に植樹された菩提樹の成長振りを伝える額入り写真(今回旅行直前の5月に撮影された)は特に喜ばれた。アムゼル有志による「故郷」、「野ばら」等の混声合唱、更に当地在住ピアニスト、エリカ・ヘルツオーク嬢のピアノ演奏も披露され、日独親善は更に盛り上がった。大食堂での晩餐会を終え、部屋に戻ったのは夜11時を過ぎていた。

翌朝9時に、ホテルに直ぐ近いワイマール市庁舎を訪問。ホールに日の丸の旗が掲げられているのが嬉しい。大広間でシュテファン・ヴォルフ市長が多忙な時間を割いて全員を迎えて下さった。西への流出の為人口減少に悩む東部ドイツ諸都市が多い、ワイマールは逆に人口が増えている(現在64千人)とのヴォルフ市長のお話が印象に残る。

その後、午前中市内見物。ワイマールは、アウグスト大公に請われ来訪したゲーテが26才以降晩年までの50年を過ごした町として有名。ゲーテハウス、シラーが住んでいた家等々、ゲーテ縁の建造物が随所にある。国民劇場を背景にゲーテとシラーが並び立つ像の前は、恰好の観光スポットである。

マルクトで簡単な昼食を取った後、中根大使、バッハハウス会長、鎌田副会長他の見送りを受けて、ホテル前から乗車、ワイマールから200 kmの次の訪問地、ドレスデンに向かった。旅は二日目、まだ始まったばかりである。



(バルト海のリューゲン島)

ワイマールへお持ちした菩提樹の写真は2006年に市長以下138名来訪地に鎌倉中央公園に植樹された現在の姿です。写真は寺田理事がレイアウトし
"Wir koennen Ihren Lindenbaum wachsen sehen"と
"Nochmals vielen Dank fuer Ihre Freundlichkeit!"の言葉が添えられています。

ドイツ旅行の思い出

会員 三谷喜朗 西脇大平 (三谷氏の孫)



(三谷さんご夫妻と太平君そして中根大使)

今回は妻と孫の3人でお世話になった。

さて出発の前羽田空港の会議室で顔合せの会が開催され、金沢から参加の新保氏夫妻の紹介があったが何と私の昔の会社のOBと伺い偶然とは言え旅には一段と楽しさがました。アムゼルから10周年記念コンサートの余韻も残る内に8名からのアンサンブルを編成しての参加を頂き交流会で一役を果たして頂き賑々しい旅ともなった。皆さん有難う御座いました。

今回もこれまでと同様会員の阿部仁氏が添乗員にまた現地ではマックス由香里さんの案内を受けた。ご両氏とも事前の調査が行き届き何の不都合も生ぜず、お陰で悉く全員無事に帰国した。

旅はWarltburg, Bach Museumを尋ねてWeimarでの記念祝賀会から始まった。祝賀会はWeimar DJG 会長のFr. Bauhausさんの挨拶から、Berlinよりご参加の中根駐独大使のご挨拶、アムゼルのコーラス、プロのピアニストであるヘルツォーク・エリカさんの演奏もあり会は夜更けまで賑わった。

我々が持参した額に入れた菩提樹のその後の成長写真を翌日表敬訪問し市長へもお渡しした。市内観光後爽やかな疲れと共に大使他の各位に見送られDresdenに向かった。Dresdenでは予てより一度は行きたいと願っていた奇岩での有名なElbe Schwyzへの軽ハイキングであった。

案内書によれば30分位の軽い上り坂の道のりとあったが小生には富士山の5合目までのトレッキングの様に思えた。奇岩に囲まれた頂上からの遠景は素晴らしい。しかし途中の上り坂では同行の孫に背中を押されて息も絶え絶えであった。頂上の裏側にはバスも走れる舗装道路が有りまさしく富士山5合目の光景を目の当たりにした様だった

Berlinでのオーケストラでは中々鳴りやまない万雷の拍手にたんたんと幾度も応える指揮者の姿が忘れられない。北ドイツに入ると一面の黄色の菜の花畑、色とりどりの花のシャクナゲに林立する発電風車の景色はドイツならではのものであろう。Kuehlungsbornの海岸のレストランで我々だけの夕食会が持たれた。会は会長の挨拶後和やかに進められアムゼルの各位も大役を果たしての安堵感が伺え楽しそうであった。

翌日はLuebeckで50年来の旧友H. D. K.氏と会う事になって居りこれも今回の楽しみの一つであった。思い出は尽きないが最後に企画に尽力頂いた織田会長に感謝申し上げると共にご同行の奥様を気に掛けながら随所でビデオカメラを回して下さいました。大石副会長もご苦労様でした。ビデオフィルムの公開が楽しみで待たれる所である。

「太平君のツブヤキ!!!」

今回のドイツ旅行へ参加して、日本とは違った文化を学ぶことが出来大きな刺激を受けた。本でしかない事を生で見、体験した事は今後の自分の人生に大きな糧となると思う。ご迷惑をおかけしたこともあったと思いますが、皆様に良くして頂き楽しい旅行をすることが出来た。市長を訪問した時にまさか大使と隣り合わせになるうとは、思いかけない良いおもいでとなった。



(パッハを訪ねて)



(連立する風力発電)



(民族衣装の少女達と)

湘南日独協会創立15周年記念

合唱団アムゼル10周年記念コンサート



(第1部民族衣装で)

5月19日(日)鎌倉芸術館(小ホール)で開催されたコンサートは600席が満席に近い盛況で成功裡に終了しました。(右側のアンケートをご参照下さい)

当日42名の団員は梶井智子さん指揮、内海祥子さんピアノ伴奏、客演として梶井龍太郎さんを迎えて、3部構成のプログラムを演奏盛大な拍手を受けました。

第1部「はじまりは民謡から」ではドイツの民族衣装で登場日本の歌と思われるまで親しみ深い「こぎつね」から「のぼら」「菩提樹」等を演奏、

第2部「ロマンと土のにおい」では団員のユニフォームに着替え「モラヴィアの6つの響き」「ブラームスの民謡・歌曲集」から、と良く知られた「流浪の民」を熱演しました。

第3部「オペレッタの楽しみ」では梶井智子さんと梶井龍太郎さんをソリストに迎え「メリーウイドウ」「こうもり」等の名場面を踊りもまじえて演奏、客席からの手拍子も加わり楽しい舞台でした。

コンサートは下記の皆様よりの後援を頂きました。

ドイツ連邦共和国大使館、鎌倉市、藤沢市、藤沢市合唱連盟、公益法人日独協会、横浜日独協会、江ノ電沿線新聞社、NPO「文化日独コミュニティー」(JGCC)



(第3部の華やかな舞台)

合唱団アムゼル10周年記念コンサートを終えて

アムゼル 団員 宇多綾子



(宇多氏と客演梶井龍太郎氏打ち上げにて))

「アムゼル」初の演奏会は、当日の入場者480名で会場の約8割を占め、予想以上の盛会裏に無事終了することが出来ました。演奏会開催に向けての諸準備、当日の受付、会場整理など多大なるご尽力をいただきました湘南日独協会の方々に改めて心より御礼申し上げます。

演奏会来場者によるアンケートの集計結果を簡単に纏めてご報告いたします。来場者の年齢層は出演者とほぼ同じ60代70代が大半でした。

1. 曲目に関して: 第一部、二部、三部とそれぞれに良い選曲で、ドイツ民謡は聴き慣れた曲が多く、懐かしかった。すべてドイツ語で歌うのは大変だったでしょう。

2. 演奏に関して: 出演者が楽しそうに歌っているのが印象的で大いに楽しめた。第三部のオペレッタ形式の舞台ではソロ、デュエットも素晴らしく、バックコーラスの演出は笑いもあり愉快だった。

3. 服装に関して: 第一部のドイツ民族衣装風のはカラフルで雰囲気が出ていた。第二部、三部のドレスも上品で、男性の黒スーツも素敵だった。

4. プログラム、チラシに関して: 色彩も美しく、インパクトがあった。プログラムの解説は大変詳しくよく理解できた。

その他、多少辛口のものもありましたが、全体的に楽しかったとの感想が多く、次回演奏会への期待に応えるべく今後の活動を真剣に考えなければと痛感いたしました。

梶井智子先生のご指導の下、団員一同また新たな気持ちで練習に励んでおります。

編集後記

5月19日アムゼルのコンサートで歌い踊り、22日より東部ドイツ旅行に参加しました。多くの方々のご協力で、コンサートは盛況に、旅行は愉快に終了、今後の創立15周年の記念行事を皆さんと楽しみたいと思っております。会報への皆様のご協力もお願い申し上げます。(大久保)

★★湘南日独協会のホームページ★★

<http://jdg-schonau.ciao.jp/>

「全国日独協会一覧」からもアクセス出来ます